

# 継続事業 **タイ** 理数系(STEM\*)教育を通じたリーダーシップ育成事業(第2期)

— 企業と連携して、子どもたちの学業および職業機会を拓ける —



活動地域: アユタヤ県、ラヨーン県およびサムットプラカーン県  
 事業期間: 第1期2017年4月～2020年3月(3年間)、第2期2020年4月～2023年3月(3年間)  
 事業規模: 当年度支出額2,652千円(総事業規模: 30,000千円)  
 主な支援者: 日産自動車株式会社

\*「STEM(ステム)」とは、Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Mathematics(数学)の頭文字をとった言葉。

## 16

校

支援の対象となる学校数

## 809

人

活動に参加した生徒数

## 44

人

研修を受けた教員の数(うち女性34人)



### 課題

タイ政府は、今後の経済社会の発展に向け産業人材の育成を課題とし、特に、高校進学において職業教育課程に進む生徒数の増加を促進するとともに、中学・高校における職業活動を積極的に推進しています。一方、多くの学校では、十分な予算がなく、職業活動に関する知識や技術を有する教師も不足していることから、これらの実現が困難な状況です。とりわけ、カンボジア等からの移民の子どもたちの学習環境は厳しく、中学・高校を卒業した後の職業選択も極めて限定され、貧困に陥りやすいことが指摘されています。中学・高校在学中に、社会人として必要なリーダーシップやマーケティングスキル、そしてライフスキルなどを身につける機会が求められています。

### 活動内容

2020年4月より第2期を開始し、第1期の対象学校9校に加え、新たに7校を選定。一方、新型コロナウイルス感染拡大に伴い全校が休校になるなど、中高生を対象とする活動が大幅に制限されたため、リーダーシップ育成キャンプ開催を含む主要な活動が、次年度へ延期となりました。その結果、第1期支援校での小規模ビジネスグループへの活動継続支援などが中心となりました。さらに、教員向けの研修を開催し、ジェンダー、環境教育、ライフスキル等の実践的な講義やワークショップを実施するなど、教員の能力向上にも取り組みました。今後も、制約下で活動を継続していくことが想定されますが、適宜人数制限を設けながら学校毎に個別の活動を行ったり、複数の活動を一度に集約して実施したりするなどの対策を講じつつ、着実に活動を進めていきます。

### 受益者の声



#### ポンチム先生

サムットプラカーン県の学校で教鞭をとるポンチム先生は、教員向けの研修に参加した一人。「このような貴重な機会を得られたことにとっても感謝しています。研修で得た知識を生徒たちのみならず、同僚の教師たちとも共有していきたいと思っています。また、SNSなどを通じて、他県の教員たちにも情報を発信していきたいです。そして、あらゆる校内活動にSTEMの視点を取り入れていきたいと思っています」と熱心に語ってくれました。